



《メールアドレス》
akito@kdr.biglobe.ne.jp

市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

2007年 10月発行 第68号

日本共産党中野あきと事務所

日野市南平7-6-72 Tel.599-3350

〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

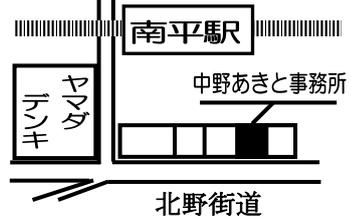
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

Tel.042-374-4384

又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



学童クラブの大規模化解消、障害児学童への対応

9月市議会質問

中野あきと

子どもの育成を支える機能として学童クラブにも注目がよせられています。国の方針も新しく打ち出されたり、全国の自治体でも環境改善、充実の動きがみられます。日野市では大規模化や障害児への対応など、早急に解決が求められる問題を抱え是正が求められています。

◇大規模学童クラブの解消

- (中野)日野市では、71名以上の大規模学童が8ヶ所に及び、100名以上も1ヶ所ある。分設などで早急な解決。
- (部長)「ひのっち」の実施により、学童希望者の変化(減少)も想定される。そこも踏まえて努力したい。
- (中野)国でさえ40名規模が適正規模だと示しはじめています。「ひのっち」などによる微調整で済ませる事態ではない。本腰を入れた対策を講じるべきだ。



問題の残る
特養「浅川苑」の民間移譲

日野市は9月議会で、市立特養ホーム「浅川苑」を廃止し、土地・建物を民間業者に無料で貸与、経営を移譲する提案を行い、与党の賛成多数で可決しました。

これは市民はむろん、入居者とその家族にも事前の説明や合意もなく、一方的に計画・推進されたものです。また、移譲をめぐって「募集要項」に定めた条件を、事業者を選定した後になって大幅に緩和するなど、公平な選定であったかどうかの問題も指摘されています。「市民の参画」という馬場市長の方針が問われるところです。

◇発達障害児受け入れ基準の改悪について

- (中野)発達障害児の介助員が一方向的に削られた。早急な是正を求める。
- (部長)削ったのではない。施設への加配という措置に切り替えて、必要な支援は行なっている。
- (中野)一律に削ったことは明白だ。2年前に制定された発達障害者支援法にも反する。「その者の状況に応じた適切な支援」(第3条)とある。状況に応じて支援を決めるのであって、一律に対応してはならないことは明確だ。市は一律基準でカットし、やってはならないこととしている。介助員を外された保護者への事前説明は行なわれたのか。
- (部長)問い合わせがあれば行なった。
- (中野)大変な不安を抱える問題について、保護者への理解も得なければ説明もしない。行政のやることか。
- (部長)保護者からのお話もいただき、スキルアップに努める。
- (中野)厚労省の通知でも「本人や保護者に支援の内容について十分な説明と理解を得ることが重要」と強調している。介助員外しの一律対応といい、保護者への対応といい問題があり是正すべきだ。
- (部長)今後、この支援については発展させてきたい。

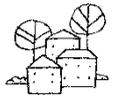
※以上は質問の一部です。詳細はお気軽にお問い合わせ下さい。ご希望の方は議事録も提供いたします。

短信

この欄を書く上で時々悩むことがあります。書いている時点から皆様のお手元に届くまで時間のずれがあることです。ようやく国会が再開され、首相指名で衆参別々の結果が出た日に、パソコンと向き合っています▼十日間にわたる自民党総裁選。NHK、民放を合わせ特番のテレビ放送だけでも十時間余。これに投票票中継の時間も加わります。国民が参加できるわけでもないのに、見飽きた二つの顔に電波はジャックされました▼自公大敗の選挙が終わり、論戦が始まると思った矢先、国会は二週間もストップです。このための空費した国会予算はざっと三十七億円(二十日付「東京」)。むろん国民の納めた税金です。「政治の空白は起こせない」とは、どなたの台詞だったのかと問いたくなります▼さて、状況が一変した国会が再開されているはずです。「小さな人間私たちが原動力として変えられる政治の季節が来ようとしている」。

選挙の直後、作家の澤地久枝さんが、しんぶん「赤旗」に寄せた談話です。国民の思いをはかれない政党、政治家には未来はありません。(K)

広がりはじめた凍結・見直しの声



来々四月から実施されようとしている「後期高齢者医療制度」は、これまでお知らせしたように、七十五歳以上の全ての高齢者が加入させられ、保険料は年金から差し引かれるという制度です。しかし参院選後、「見直し」「凍結」の動きも広がり始めています。

この制度の保険事業や保険料については、東京の場合は東京都後期高齢者医療広域連合議会で決定されます。11月予定の「広域連合」議会にそなえて、日野市議会では全員協議会が開かれ、日野市選出の「広域連合」議員(自民クラブ)から検討状況が報告されました。

「広域連合」が試算した保険料は、現在の日野市の国保料と比べても、一人当たり年額で平均6万円から7万円も高くなる可能性があります。報告者によれば、「広域連合」議会でも、「このまま決めてよいのか」との議論も生まれており、日野市としてどのような態度で臨むべきか、意見を聞かせて欲しいとの提起がありました。

また、同市議は、「この制度をめぐって国の段階でも見直しや凍結を求める意見もあり、私も凍結がよいと思う」と述べました。

9月28日の市議会最終日では、公明党からの「意見書」は全員一致で採択されましたが、市民から出された「実施の凍結を求める陳情」は、「制度そのものは実施すべきである」との理由で、委員会同様不採択となりました。

▼制度の撤回を求めて▲

この制度は、高くなる保険料以外に、高齢者には行なわれていなかった保険証の取り上げや、診療報酬体系を別建てにして、診療内容を制限するなどの重大な問題も含まれています。引き続き運動を強めて「凍結」「撤回」を求めることが重要です。

▼共産党市議団の提案▲

日本共産党市議団は、第一に、議会最終日に「後期高齢者医療制度」について、公明党から「意見書」の準備がされている。内容は「保険料は国保料より低く抑えること」そのために、国、都に財政措置を求め

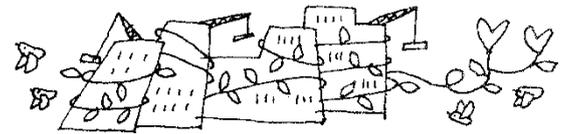
中野あきと

◎豊田駅バリアフリー化情報

2022年度北口と南口に、それぞれエレベーター、エスカレーター、ホームへのエレベーターの設置を予定。日野市とJRの間でまだ協議中とのことだが、利用者の負担を軽減する施策を優先させて、一日も早い設置を望む声が多く出されている。

◎豊田1号公園(仮称)に動き

中野市議の「公園の早期整備を」の質問に対し、市は、10月以降に住民説明会を開くと答弁。この中で公園内に住民案にはないグランドを設ける提案が行われる模様。中野市議は、市はグランドに固執せず、早急に整備をすべきと強調した。



《07年11月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

11月 1日(木)

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

11月 8日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 Tel.582-0504

中野事務所 Tel.599-3350

ヤジの合唱の中での共産党の質問

都議会議員 村松みえ子

都議会本会議での日本共産党の質問時間は、現在37分間です。それを代表質問27分、一般質問10分に振り分けています。石原知事は、共産党に対しては、不当な攻撃を行なう場合などがありますから、毎回反撃の時間として2分間を確保するため、正味25分間が代表質問の時間となります。(もっと多ければ…)

今回も、都政運営から都民生活、環境問題、

オリンピックによる大型開発など多岐にわたる内容に加えて、新聞、テレビでも取り上げられた低所得者への都民税軽減という、知事の選挙公約をほごにする問題の追及も加わり、代表質問者の清水さん(八王子市選出)も大変でした。私は、稲城市南山の緑地など、多摩地域の里山や屋敷林を保存するよう求める質問を行ないました。

議場に私たちの質問が流れると緊張がはります。例えば、石原知事は1500万円の費用でツバル、フィジーを視察しました。温暖化問題のためでしょう。しかし一方では、石原都政の8年間で、100以上の超高層ビルが135棟も建設され、そこから発生するCO2を吸収するには、日比谷公園2000個分の樹林が必要なのです(環境政策研究所の試算をもとに計算)。さらに中央環状線や外郭環状線、圏央道などの道路建設の推進があります。こんな追及をすると、自民党や公明党から激しいヤジが飛び交うのが常です。

参院選での政治を変えたいという国民の思いは、都議会に影響を与えます。ヤジなどにめげず都民要求実現のため、いっそう頑張ります。

みえ子の
飛びある記

